

日本の心と禅を追及して30年

(その3)

ブライアン・パークガフニ
筆記 藤川 卓爾 (S42卒)

(8) 仏心寺での2年間

- ・深く深く仏教のルーツが日本にある。
- ・仏心寺での2年間の準備の間、老師と2人きりで幸せであった。
3畳の間に住んでいたが、父からの手紙が来た。庭の草取り中、老師が扉をバタンと開けて仁王のように怒って拳骨で殴られた 星が見えた。「手紙だ」 畳の上に手紙をおいていた。「父の手紙を畳の上におくなら禅の修業の資格なし、出て行け」といわれ、出て行く用意をして箒で掃除をしている間にだんだん分かってきた。自分の足元にある美しいものに気がつかない。夕方、いつもの声で老師が「ご苦労さん」、何事もなかったかのように。2年間仏教の話は何もしなかったけれど、大切なことを教えてもらった。

(9) まとめ

- ・芭蕉「よく見ればなずな花咲く垣根かな」 私が教えられたこと。今を見なさい、今を味わいなさい。日本に来てよかった。
- ・「さらに参ぜよ30年」、命ある限り修行。
- ・「お洒落」はFashionとは反対。はじめ酒が落ちるのはもったいないと思った。よく見ればサンズイに酉ではなく西で、さらすという意味。人工的なものをすべて除去 Fashion は人工的に飾る。「美しさ」はつくるものではなく、中から光るもの。

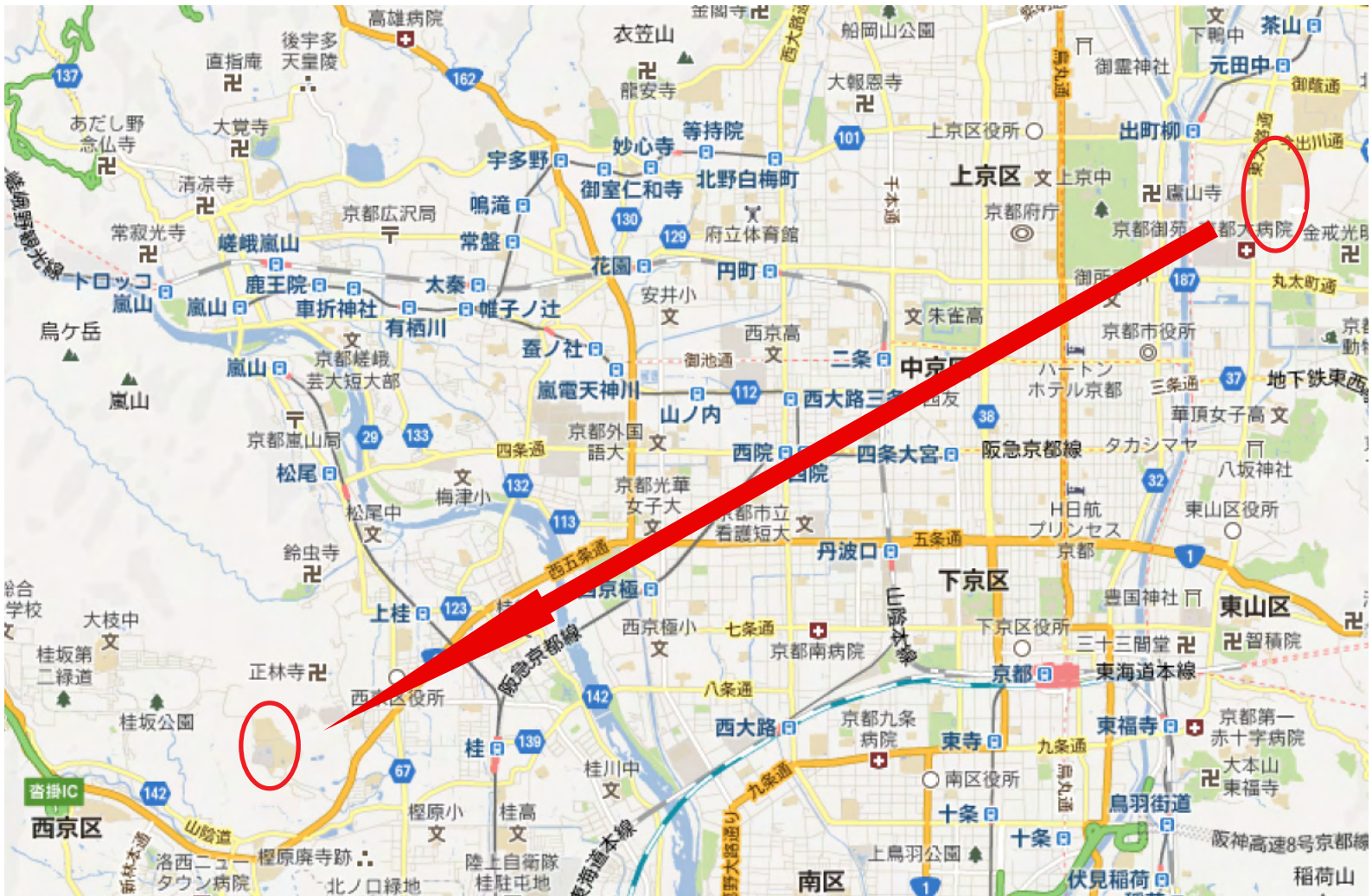
以上



写真、図表等は、本文と関係のないイラストです。

移転始まる

機械工学教室の桂坂キャンパスへの移転が始まりました。100年近く
住み慣れた吉田の地を離れるわけです。大学の役割は、研究?、人を作
る?、・・・ どうすれば、その実効があげられるか。ある意味では壮大な
実験の開始です。先輩各位の暖かいご支援をお願い申し上げます。



京機会事務局もその移転作業の影響で、当分、各種業務が滞り無く出来なくなる可能性があります。会員各位にはご迷惑をおかけ致しますが何卒ご理解たまわりたく、お願い申し上げます。

京機短信もどの様な形で発行を継続できるかの試行錯誤をしますので、色々な不備についてはご容赦をお願い申し上げます。

それから、原稿が無くなれば当然発行が出来なくなるので、各位の積極的な寄稿を重ねてお願い申し上げます。

世話人

野次馬話 第60話 「調べます」、「時間がかかりますので」、「そのように致します」、「機械ですの」・・・

S43 卒 遠藤 照男

これは一日で完了した話題ではなく、こちらが根負けするまで半月以上経った、ある保険会社の対応に対する批難である。先方に非があるトラブルに対する電話での遣り取りで、こちらが根負けするまでに、「調べます」・・・10回以上、「時間がかかりますので」・・・5回以上、「そのように致します」・・・4回、「機械でやるので・・・」・・・3回、等々の言葉が返ってきた。「調べます。」は「状況を調べます。」であって、「原因を調べます。」は一度も無い。この業界は会社収益優先、捉まえた客の利益無視の体質が強い業界だから、多分何処も似ているだろう。CS (Customer's Satisfaction) に関わる仕事もしてきた者からみて、無神経な客対応が酷く気がかりである。

契機は身分・年齢変化による加入条件変更があり、保険料支払い方法が変わったこと。保険会社の言う振替え用紙の到着を待っていたが音沙汰なく、状況を照会すると、「保険金の払込みがないので保険は失効しています。」と言う。当方に何の落ち度も無いのだから、執拗に追求することになるのだが、敵は訳の解らぬ担当を電話窓口に出しうやむやにする。周りに上司とおぼしい男の気配がする。スピーカー電話にして一緒に聞き言質とられぬようにしているのだろう。電話のトーンが変りクレマー対応の録音を始めた様子も伺える。客に対してすべきことはせず、防御体制だけはしっかりしている。

以下は交信の一部である。

[保険] 調べましたら振込み用紙がお客様に届かず、社内に放置されておりました。

[当方] 何故だ？

[保険] 調べます。

[当方] あの件はどうなった？

[保険] 調べましたら、住所が・・・となっていました。

[当方] 住所を勝手にカットするな。正確に書かないで届かないのが発端で、全て貴方の責任だ。放置を放置しておくのか？

[保険] 調べます。 繰り返し

[当方] あの件はどうなった？

[保険] 遡って払って戴かないと失効から修復出来ません。

[当方] こちらに非がないのに失効と言い、その間連絡も無く危険に晒し

た。事故が起こっていたら払わないのだろう。事故が無かったから会社に費用発生がないことが確定しているのに保険料を請求するのか。

[保険] # \$ % & @ *

[保険] 修復に時間がかかるため、銀行引落としが出来ない部分があり、これは郵便振替ではなく口座振込みで対応してください。

[当方] お前のところの不始末を、何故客が対応を使い分けねばならないのか？

[当方] そもそも、支払い方法の変更は同じ担当者が右から左へ処理する話ではないか。既に収めた保険料を一旦払戻し、改めて払い込ませる無用な行為をするから間違いが発生するのでないか。

[保険] 間違いが起らないよう、機械（システム）でやっておりますので。

まだあるが、CS等一切関係ない虚しい交信が続いた。

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

また、原稿が切れてきました。投稿、お願い致します。

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。 割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。 宜しくお願い致します。

1. 「夢」と呼ばれる日本の「革新的エネルギー戦略」と欧州・米国の 現実路線

World Energy Watch

<http://wedge.ismedia.jp/articles/-/2377>

衆議院が解散した。政権選択の一つの要素は脱原発と言われている。例えば、菅直人前首相は、「脱原発か元の木阿弥かの選択」と述べている。選択するためには、現実的に実行できる政策でなければならないが、海外の主要マスコミは、菅前首相とは異なり、「革新的エネルギー・環境戦略」を実行可能な選択肢とは見ていないようだ。

2. 日本のエネルギー政策動向

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

http://www.murc.jp/thinktank/rc/column/search_now/sn121128

http://www.murc.jp/thinktank/rc/column/search_now/sn121129

福島第一原発事故と中長期的な世界のエネルギー需要の増大を背景に、日本のエネルギー政策は見直しを迫られている。インフラ投資と組織整備には長期ロードマップが必要だが、政権及び電力行政・産業に対する不信の中、議論の収束する気配はない。本稿では日本のエネルギー政策について、現在までの議論と今後の展望を示す。

3. 中国の太陽光発電業界は万策尽き果てるのか

JBPRESS

供給過剰に追い打ちをかける欧米市場からの締め出し

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/36610>

欧州債務危機が中国の輸出不振をもたらし、「世界経済の頼みの綱」である中国の経済成長を圧迫する。半年ほど前に懸念された負の連鎖が、まさに今現実のものとなった。直撃を受けたのは中国の太陽光発電業界である。欧米市場は頭打ち、中国国内でも過剰な生産設備を抱え、八方ふさがりに陥った。あの「世界一」を標榜した太陽光パネルメーカーのサンテックパワー（尚徳太陽能電力有限公司、以下、サンテック）でさえ、経営破綻の危機に追い込まれている。

4. 「海洋エネルギー発電」実現への道

みずほ情報総研

http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/report/2012/mhir04_renewable.html

http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/report/2012/pdf/mhir04_renewable.pdf

再生可能エネルギーのフロンティアの一つである海洋エネルギー発電について、その実現に向けた方途を海外事例から探り、技術成熟度に応じた技術開

発・実証フィールドの整備・発電事業者の育成の重要性を説明した。

5 . 地域別にみた再生可能エネルギー発電設備の導入状況

～ 10 月は九州、近畿での導入が急増～

りそな総合研究所

<https://www2.rrri.co.jp/chiiki/pdf/saiene1211.pdf>

6 . 発電システム産業における海外戦略

火力発電システムの海外展開

2012.11.29 MizuhoInd.Focus 116

http://www.mizuhocbk.co.jp/fin_info/industry/sangyou/pdf/mif_116.pdf

7 . 「愛国不買」に強いブランド

日経ビジネスonline

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20121115/239486/?P=1>

中国主要12都市で独自調査。尖閣諸島の国有化を機に「愛国不買」が中国各地に広がった。日本企業はかつてない逆境にさらされているが、ブランドへのダメージは千差万別だ。主要50ブランドについて独自調査した結果、精密機器メーカーの強さが際立った。

8 . 尖閣諸島が入っていないと中国でカーナビを売ることはできない

ホンダの今井武氏に聞く 日経ビジネスonline

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/interview/20121116/239511/?P=1>

入社以来、一貫して自動車向け情報提供サービス（テレマティクス）事業に携わり、電気・電子系技術者としてはホンダで初めて役員待遇参事に就いた今井武氏。テレマティクスという新しい市場を切り開き、国内で150万人ものユーザーを抱えるまでに育て上げた。テレマティクスの歴史を振り返りながら課題や展望、これから本格的に取り組む世界市場の開拓に向けた意気込みなどを聞いた。

9 . 中国経済の現状と先行きおよび尖閣問題後の日中関係悪化の影響

キヤノングローバル戦略研究所

http://www.canon-igs.org/column/network/20121113_1652.html

http://www.canon-igs.org/column/pdf/121112_seguchi.pdf

第3四半期の実質成長率は+7.4%と、7四半期連続で低下した。しかし、中国国内ではこの数字を深刻に受け止める見方は殆ど伺われていない。それは景気が8月でボトムを打ち、9月以降回復軌道に入ったと見られているためである。加えて、良好な雇用情勢も大きな安心材料となっている。

景気押し上げ要因は、金融緩和を背景とする地方のインフラ投資の増大、不動産投資の増加、良好な雇用情勢が支える堅調な消費等である。しか

し、先行きは、輸出の伸び悩み、不動産取引規制の持続、不良債権処理の増大を背景とする貸出の伸び悩み等の要因から、回復のテンポは緩やかなものになると予想されている。

成長率見通しは今年が7.6～7%、来年は8.0～8.2%との見方が多い。

日本との交流について、「中央政府内部で日本人と交流してはならないといった具体的な指示は出ていない。しかし、日中関係が最悪の状況にある中、社会全体の空気（ムード）を読んで各自が自主的な判断で日本との交流を自粛している。」

中国政府は今回、これまでにはないほど神経を尖らせ、徹底した管理体制の中で、表面的には反日デモが整齊と行われたように見せかけていた。それは、そこまで管理体制を強化しないと、反日デモが過激な反政府デモに転嫁するリスクが高かったという中国の内政事情がその背景にあったと考えられる。

現在、日中関係悪化の影響を最も深刻に受けているのは自動車関連企業であり、販売はほぼ半減している。それ以外の産業は反日デモ発生以前の水準に近いところまで回復している模様。以前から日本企業の製品・サービスを日常的に購入するリピーターとなっている消費者、企業は殆どが購入姿勢を変えていない。

中国側で日中関係悪化の悪影響を最も心配している組織の一つが、日本企業の誘致を狙う経済開発区である。経済開発区が日本企業の新規誘致に熱心であるのは、最近の日本企業の対中直接投資が各国の中で群を抜いて伸び続けているためである。

政治的な妥協に向けて両国政府が動き出すのは、来春以降、おそらく例年3月上旬に開催される全人代の前後になるのではないかとの見方が多い。一方、経済関係の交流については、早ければ12月中旬以降動き出す可能性もあると考えられる。

日中関係が今後どうなるかについては、当面はわからない。そこで今は判断せず、新たな状況変化に応じて判断し、柔軟かつ迅速な対応をとるべきである。

10．中国経済の構造変化と今後の日中経済関係

2012.11.16 CanonGlobal 戦略研

http://www.canon-igs.org/column/network/20121116_1650.html

http://www.canon-igs.org/column/pdf/121116_seguchi.pdf

11．尖閣デモの被害者 日本人だけではない

日経ビジネスonline

坂田亮太郎

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20121115/239475/>

「転職しようかどうか悩んでいます」日系メーカーで働く李丹丹（リーダン・仮名）さんは苦しそうに胸の内を吐露した。北京外国語大学の日本語学科を今年卒業し、念願だった日系企業に就職した。日本以上に就職難の中国において、李さんは複数の日系企業から内定を得た。ブランド大学卒で容姿端麗、そして何よりも前向きな性格が評価されたのだろう。

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20100215/212809/>

12. 「中国リスク」徹底検証 対立長期化に備えよ 東洋経済online

<http://toyokeizai.net/articles/-/11159>

11月8日からの中国共産党大会を控え、外務省のある高官は眠れぬ日々を送っている。「日本の財界は、中国の指導者が交代する党大会までは堪え忍ぶだろう。しかし、大会終了後も日中関係が改善しなければわれわれへの突き上げが本格化する。それを思うと憂鬱だ」。

13. 日中摩擦、日本人投資家が「不買」で反撃 JBPRESSFinanc.Times

<http://jbpres.ismedia.jp/articles/-/36529>

アジアの2大経済大国である日中間で領有権を巡る論争が繰り広げられる中、中国人消費者による日本製品の不買運動に呼応するような形で、日本の個人投資家が中国の資産に背を向けている。

13. 2012年米大統領選結果を読む

双日総合研究所 November 16, 2012

<http://www.sojitz-soken.com/jp/send/tameike/pdf/tame506.pdf>

”Blunt words and keen swords” 「売り言葉に海上演習」 8p

日米中の決められない政治 9p

先週11月6日には米大統領選挙が行われ、オバマ大統領の再選が決まりました。ただし同日の議会選挙の結果もほぼ現状維持で、ホワイトハウスと議会のねじれ関係はあいかわらずです。ということは、与野党対立の構図に変わりはなく、今後も「財政の崖」問題などで政治の停滞が続くことになりそうです。

14. 日中国交正常化40周年 どう中国と付き合うか

中国・習近平新政権発足、その性格、課題、対外政策を読む

<http://diamond.jp/articles/-/27948>

DIAMOND Online

高原明生教授に聞く： 11月14日に中国共産党の第18回党大会が終わり、翌15日には習近平氏が、党総書記に選出された。02年から続いた胡錦濤（総書記・国家主席）・温家宝（総理）体制を引き継ぎ、習近平・李克強新体制が

スタートする。東京大学大学院政治研究科の高原明生教授に、大国の自信と国内の不安定化の双方が増すいまの中国にあって、新政権はどのような性格を持ち、いかなる課題を抱え、対外政策はどう変わるのかについて聞いた。

15 . 中国は「失われた20年」に突入した。バブル崩壊で日本と同じ道をたどる理由

JBPRESS

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/36496>

中国のバブルが崩壊し始めた。中国政府が掲げる今年度の経済成長目標は7.5%だが、その達成は難しいようだ。これまで中国政府は農村部から都市部へ出てくる人々の雇用を確保するために年率8%の成長が必要であると言ってきたのだから、7.5%は控えめな数字なのだが、その達成さえも危ぶまれている。バブルが崩壊し始めたと考えてよい。

16 . 中国の地方政府は財政破綻寸前

北村豊 日経ビジネスonline

国家統計に含まれない鎮政府以下の負債額

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20121121/239718/?P=1>

2012年11月3日、広東省“東莞市(とうがんし)”に属する“虎門鎮”の“白沙社区”にある台湾系企業“東莞創盟電子有限公司”(以下「東莞創盟」)が対外的に破産を宣告した。同社の“老板(経営者)”である“林憲昌”はすでに工場を捨てて台湾へ逃げ帰っていたし、“游棟華”以下15人の台湾人幹部は11月2日の夜から次々と逃亡を図り、彼らの携帯電話は電源が切られて、連絡が取れなくなった。11月3日の破産宣告で初めて同社の倒産を知った従業員たちは続々と会社を集まり、抗議行動を起こすことを決議すると、「国道107号線」の虎門鎮から東莞市へ向かう区間を塞ぎ、10月分の給与の支払いを要求して抗議活動を展開した。

17 . 株価で中国経済の動向を掴む

野口悠紀雄 DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/28307>

今回は、中国株式市場に関するウェブサイトを開いて、中国語の予備知識なしにデータを入手することに挑戦しよう。

18 . 中国経済の大崩壊は始まっているのか？

2012.11.20

BRAVE NEWS 現代ビジネス

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/34047>

中国はいくつかの難しい問題に直面している。中国政府がそれにどう応じるか、あるいは応じないか次第で、グローバル経済の進む方向がねじ曲がることになりかねない。まず、中国の不動産バブルは収縮しつつある。しか

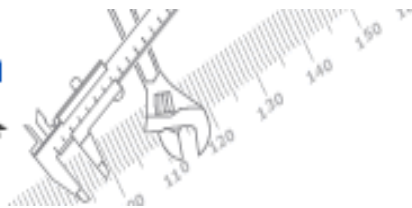
しその経済は同時に、われわれエコノミストが言うところの過剰生産能力、つまり、工場であれ小売店であれインフラであれ、とにかく資本財への過剰投資に苦しんでいるように見える。

19．日中関係悪化の経済的な影響をどのように考えたらよいか？

経済産業研究所

http://www.rieti.go.jp/jp/columns/a01_0358.html

世界的な景気下振れリスクが高まる中、日中関係の悪化が経済に与える影響が懸念されている。中国に進出している日系企業は、大手自動車メーカーが当面3～5割の減産を決めるなど急激な生産調整に直面している。9月分貿易統計によると、対中輸出は前年同月比で-14.1%となり、アジア域内の中でもNIEs向け(-7.7%)やASEAN向け(-4.9%)と比べて突出した落ち込みとなった。とりわけ減少の寄与度が顕著であるのは自動車(-2.5)、原動機(-1.6)、自動車部分品(-1.0)、鉄鋼(-1.0)であり、自動車関連の品目が目立つ。こうした影響を受け、9月の鉱工業生産指数は前月比4.1ポイントの減少となった他、7-9月期実質GDPは前年同期比-0.9%(年率-3.5%)となるなど实体经济への影響が危惧されている。



報告

ご挨拶

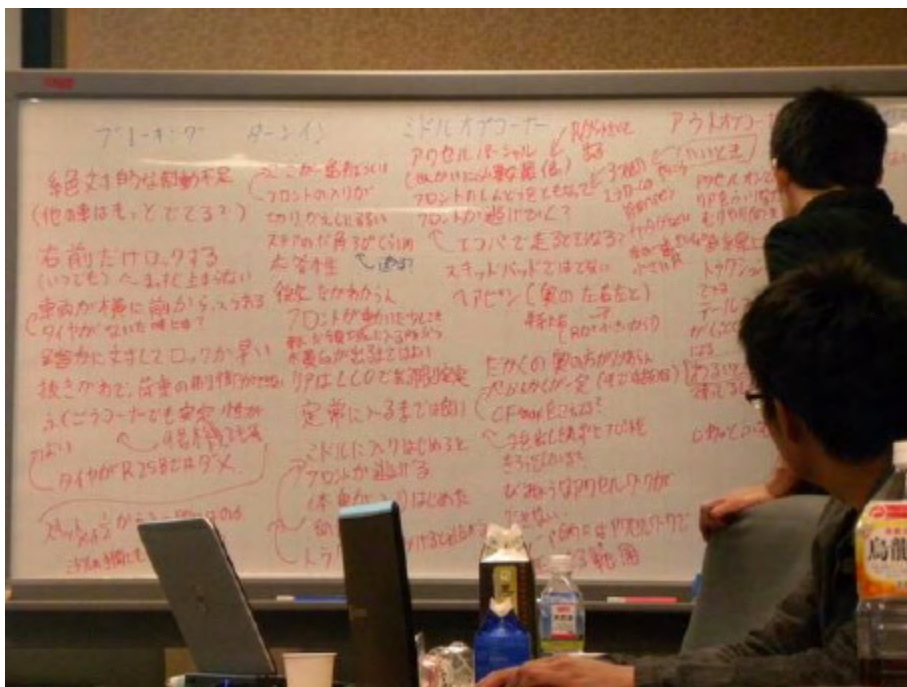
今年も慌ただしく過ぎ去りようとしておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。チームは現在、2013年度車両の設計を継続して行っております。12月初頭より製作にシフトする予定となっておりますが、工学研究科の桂キャンパス移転の影響で製作の開始を遅らせることと致しました。そこで、今回は以前より多くの方にご質問頂いていた、大会でのエンデュランスリタイアの原因についての報告を記載したいと思います。

エンデュランスリタイア原因について

第10回全日本学生フォーミュラ大会において、2012年度車両KZ-RR10がエンデュランス（耐久走行競技）をリタイアしたことについて、その直接的な原因に加えて根本的にどのような問題があったか、一部に予測を交えて報告する。

リタイアの状況を記述する。加速性能を競うアクセラレーション競技から、エンジンが8000rpm付近までしか吹けあがらなくなる症状が発生した（レブリミッターは9500rpmで作動する）。続くオートクロス（コース走行競技）の一人目が終わってもその症状はおさまることなく、以前燃料系の原因で同様の症状が起きていたことから、二人目の走行までにインジェクタ交換を行うが、二人目走行時にも改善は見られなかった。

オートクロスで使用した点火コイルは火花が飛ばなくなっていたため、その場で持ち合わせていたコイルのうち、目視で最も火花が



KZ-RR10の問題点を洗い出す

飛んでいると思われる点火コイルに交換し，さらにイグナイタからコイルまでの配線も新品に交換し，エンデュランスを迎えた．一人目のドライバーは無事出走するも，依然としてエンジンは吹けあがらず，周回数を増すごとに失火が増えていった．一人目は無事10周を走りきるも，ドライバー交代エリアへ進入する際にエンジンは自然にストップし，ドライバー交代を済ませるも二人目のドライバーがエンジンを再始動できず，エンデュランスリタイアとなった．

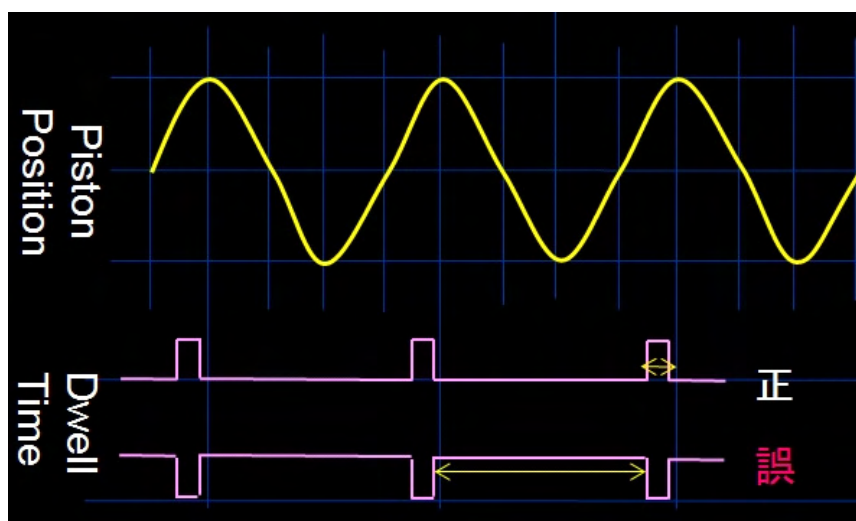
エンジンが再始動できなかった原因については，点火コイルの1次側が導通してしまい，故障したためである．これは，大学へ戻った後に点火コイルを交換した際に問題なく火花が飛んだこと，さらにエンジン始動にも成功したことから明らかと思われる．

点火コイルを故障させたことについて，さまざまな視点から原因を調べた．その結果，次の2点によるところが大きいと考えられる．

ECUによる制御の段階で，点火系に関する設定に誤りがあった．

大会直前に車両へ搭載したファイアウォールによって，エンジンルームの冷氣導入がなされず，点火コイル周辺の雰囲気温度が上昇していた．

まず についてだが，これはECUの設定で，1次コイルに印加する電圧のプラスマイナスを逆に与えていたことである（下図）．フルトランジスタ型の点火システムの場合，1次コイルに一定時間電流を流し続け，その電流を遮断した瞬間に，相互誘導によって昇圧され2次コイル側に高電圧が発生する．図のとおり，プラスマイナスを逆にしていただけでは点火のタイミングが合わず，エンジン始動には至らないが，ピストン位置の情報を与えるクランク角センサについても，設定上30度のずれが生じていた．偶然にもこの2つのずれが相殺してしまっていたためにエンジンがかかってしまい，設定のミスに気づくことが出来なかった．この図からも明らかのように，この設定のミスにより，1次コイル側への通電時間が長くなることから（図中矢印部分），点火コイルに過剰に電流が流れてしまい，コイルが異常に加熱され，焼き切れたと考えられる．



しかし，この設定ミスは1

ピストン位置と1次コイルへの導通時間

年間続いていったことであり、大会時になって点火コイルが故障に至ったというのは、どういうことかについて考える必要がある。これについての推測が にあたる。つまり、点火コイルの異常加熱される状態での使用に、雰囲気温度の上昇が組み合わされて故障に至ったと考えた。昨年度、8月上旬で車両は完成状態となっている予定だったが、実際に完成状態となったのは大会1週間前となった。予定通りに開発期間を1ヵ月とっていけば、ファイアウォールやカウルでエンジンルームの熱がこもりすぎていることに気が付き、何かの対策を施すことが出来た可能性があり、加えて上述の設定のミスにも気づけていたかもしれない。

以上より、今回のエンデュランスリタイヤの原因は

- ：エンジン制御の設定とカウル・ファイアウォールの設計のミス
- ：開発計画の管理ミス

の2点にあったと帰着される。

これらについて、我々が行っている対策は、

のエンジン制御に関して、現在は既に正しく設定がされており、加えて先月の報告書でも報告したようにカム角の読み取りによる制御に成功したことで、読み取りの正確さを向上させている。カウルとファイアウォールの設計に関しても、KZ-RR11ではエンジンルームの冷却を主な機能のひとつに据えて設計を行っている。

の開発計画に関しては、近年は後手に回ることが恒常化していたカウルの製作期間を1月から3月に行うことで、カウルとファイアウォールの完成を早め、余裕をもって試験走行を行えるように計画している。

報告は以上です。長文にて失礼いたしました。